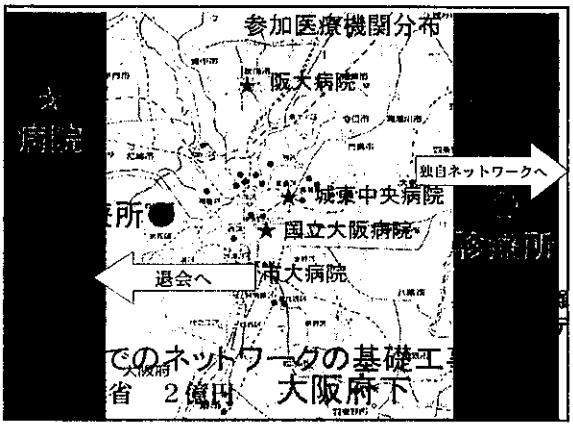
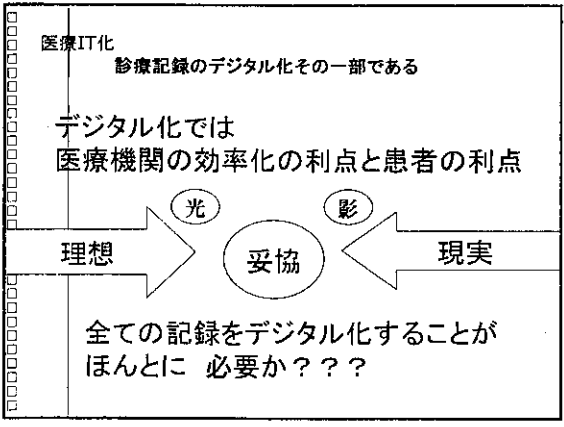
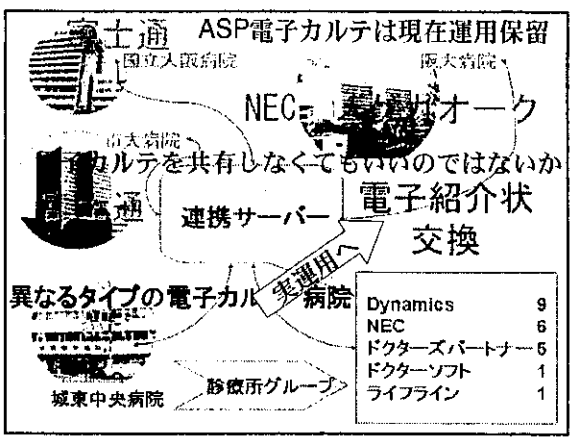


地域電子ネットワークへの取り組み

大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構
OCHIS
Organization for promoting Community
Healthcare Information Systems

第3回医療情報ネットワーク基盤検討会
厚労省 第21会議室
2003/9/1 (月)
OCHIS 副理事長
大阪市城東区医師会議長・医療情報委員長
松岡診療所 松岡正己



高速道路は人々の生活を豊かにした

医療ハイウエーは人々の生活を豊かにする

現実に実現可能な部分から始める！

電腦病診連携 全体のデータ集計

1月～7月2日現在 (平成14年)

実証期間中

城東中央病院(民間)	71	地域中核病院
国立大阪病院	37	市議会個人情
大阪市立大学付属病院	18	審議会
大阪大学付属病院	2	
合計	128	

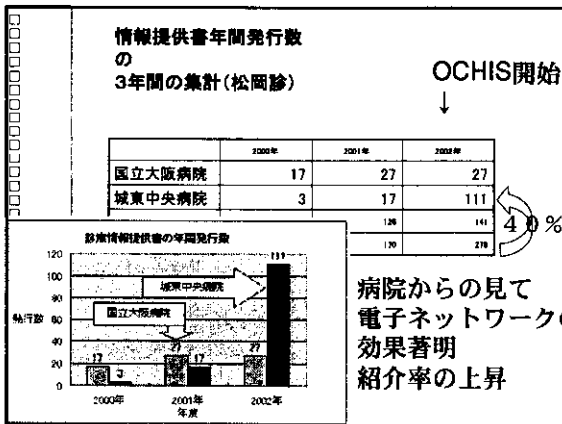
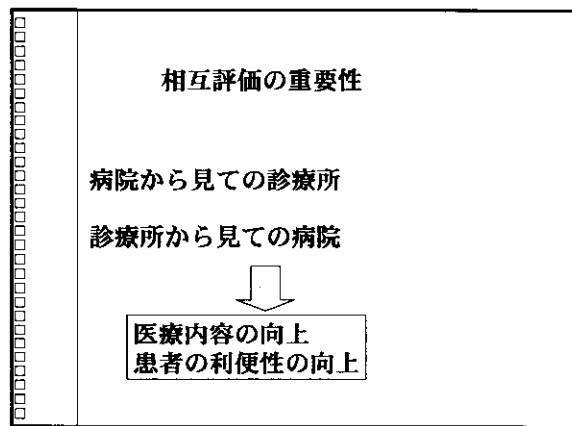
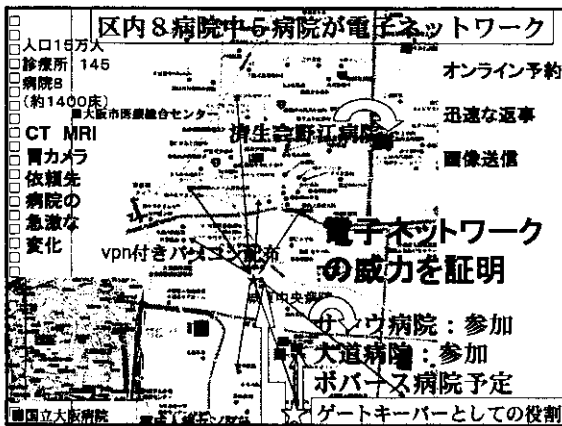
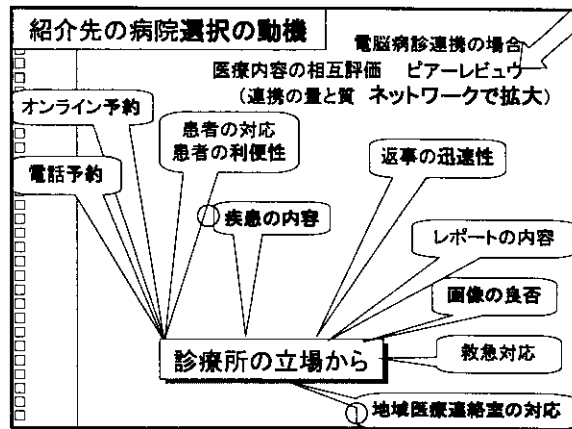
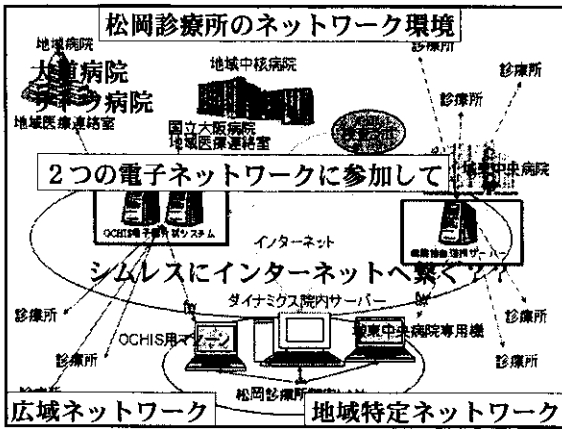
患者の信頼

男女比 男:女 127:1

内容比

検査	9	患者に便利
診察・経過報告	27	
(病院とかかりつけ医との共同診療)		
入院	7	
手術	2	

患者に好評



連携の評価 4段階◎○△× 毎月集計

病院にもレポートを送信(院長宛に)

No.	氏名	所属	担当	連携内容	評価	備考
1	◎	...
2	◎	...
3	◎	...
4	◎	...
5	◎	...
6	◎	...
7	◎	...
8	◎	...
9	◎	...
10	◎	...
11	◎	...
12	◎	...
13	◎	...
14	◎	...
15	◎	...
16	◎	...
17	◎	...
18	◎	...
19	◎	...
20	◎	...
21	◎	...
22	◎	...
23	◎	...
24	◎	...
25	◎	...
26	◎	...
27	◎	...
28	◎	...
29	◎	...
30	◎	...
31	◎	...
32	◎	...
33	◎	...
34	◎	...
35	◎	...
36	◎	...
37	◎	...
38	◎	...
39	◎	...
40	◎	...
41	◎	...
42	◎	...
43	◎	...
44	◎	...
45	◎	...
46	◎	...
47	◎	...
48	◎	...
49	◎	...
50	◎	...
51	◎	...
52	◎	...
53	◎	...
54	◎	...
55	◎	...
56	◎	...
57	◎	...
58	◎	...
59	◎	...
60	◎	...
61	◎	...
62	◎	...
63	◎	...
64	◎	...
65	◎	...
66	◎	...
67	◎	...
68	◎	...
69	◎	...
70	◎	...
71	◎	...
72	◎	...
73	◎	...
74	◎	...
75	◎	...
76	◎	...
77	◎	...
78	◎	...
79	◎	...
80	◎	...
81	◎	...
82	◎	...
83	◎	...
84	◎	...
85	◎	...
86	◎	...
87	◎	...
88	◎	...
89	◎	...
90	◎	...
91	◎	...
92	◎	...
93	◎	...
94	◎	...
95	◎	...
96	◎	...
97	◎	...
98	◎	...
99	◎	...
100	◎	...

報告所見 迅速か 判りやすいか 正確か 親切か
診療所が病院を選別 患者が診療所を選別

診療所から病院のカルテを閲覧して
診療所の電子カルテの保存

ディク等の
保存!

Dic

かかりつけ医にデータ集積
CDROMでのカルテ開示

術後の
パソコンで見れば
パソコンの使えるDrへ

ハワイに旅行に行くから
発作時が心配、
CDROMの全カルテ持参で
安心旅行

私のカルテ開示
喘息の患者

手術記事
2001/0

病院のカルテが診療
電子カルテ

城東中央病院

電子ネットワーク使用料 安い

- 診療所 月 3000円 入会金1万円
- 病院 月 6000円 入会金2万円
- 検査ラボ 6000円 入会金2万円

★ 他府県の医療機関へも開放

経済産業省の2億円の補助事業で
システムは構築済み

和歌山県 奈良県 鹿児島県 群馬県

フランチャイズ方式も検討中

非営利 運営費のみ 企業の協賛

OCHISへの参加費用

かかりつけ医の
機能強化

児成長曲線の表示
赤ちゃんの泣き声
予防注射歴が
医に

CDROMでの生涯
電子健康手帳

PKI方式の
暗号送信 電子紹介状DB

公開鍵
秘密鍵

SSL通信

属性認証

中央郵便局の私書箱

属性認証
ICカード

電子紹介状
の書留郵便
みたなもの

介護施設
訪問看護
ST

検査会社
調剤薬局

○老健施設
○訪問看護
○特養

○病院
○病棟
○病室

○高槻医療
松岡診療所

○大阪病院
国立大医病院
市大病院
城東中央病院

全国どこからでも可能

受付では
保険証
参照
のみ

松岡診療所 (医師 松岡正己)
〒590-0038 大阪市城東区東中浜4-7-15
PHONE :06-3869-8133 直電:06-3861-1809
FAX :06-3869-8895
E-Mail:masu@osaka.med.or.jp
URL :http://www.shinryosyo.com/natome/

国立大阪病院 科 先生履歴

機をご紹介申し上げます。
本星野は防ご地域IP網によるインターネット専用回線
にて資料を貴院の地域連絡網に電送しております。
よろしくご高値のご取置を願っております。

なお、貴者の保険者番号も送信しております。
よろしくお願いたします。
(患者データを電送することに関与していません)

データ
電送に
同意

保険者番号送付済み

大阪市内 4ブロック

赤:民間病院
青:公立病院 20病院と100診療所の参加を目指す

★参加または参加表明の病院

★:
電腦病診連携

大阪府下:365病院
大阪市内:209病院
合計:574病院

赤:民間病院 青:公立病院

★は 電腦病診連携の病院

7ブロック

厚労省の医療情報の
グランドデザイン

- 2004年までに
2次医療圏に少なくとも
1施設の電子カルテ化を図る
- 2006年までに
400床以上の病院の6割
全診療所の6割を電子化を
図る

OCHISのホームページに公開

★参加または参加表明の病院

★:
電腦病診連携

大阪市内 4ブロック

赤:民間病院
青:公立病院 20病院と100診療所の参加を目指す

★:
電腦病診連携

大阪府下:365病院
大阪市内:209病院
合計:574病院

★実証試験時の参加病院

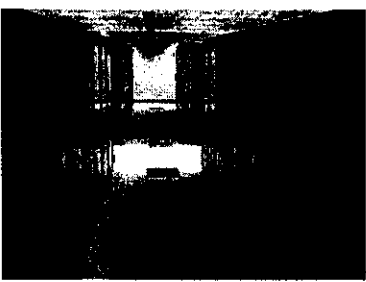
診療情報交換サーバーの
設置場所の問題

カルテの保管場所→医療機関
電子カルテの保管場所

病院
医師会
☆公的機関

電子紹介状はカルテそのものではないが

サーバーの設置場所→公的機関
大阪府運営のIDC
インターネット データ センター



8階建ての建物セキュリティ
と保安は万全

当院はインターネットで暗号化して
オンラインの病診連携として患者様へ
国立大阪病院を 受診された患者様に

医療機関の機能分化
地域での連携の強化

「かかりつけ医を
お持ち下さい」

国立大阪病院発行のパンフレット

電話06-6946-3516 病院代案06-6942-1331

診療情報外部保管に関する通達の緩和
(医療施設以外でも可能とする)

電子ネットワークの発展のためには必要な措置

市立静岡病院の病診連携
患者一人に2人の主治医
イーツェット 医2net

患者の利便性が高まる

患者さん1人に2人の主治医

1) 腫瘍科	医師数:25名 調剤システム登録数:54名
2) 産科/婦人科	医師数:71名 調剤システム登録数:178名
3) 消化器科	医師数:85名 調剤システム登録数:41名 (IF搭載20%)
4) 消化器不全	医師数:20名 調剤システム登録数:約40名
5) 呼吸器科	医師数:81名 調剤システム登録数:約10名
6) 乳がん	医師数:26名 調剤システム登録数:約千名
7) 泌尿器科	医師数:65名 調剤システム登録数:約100名

医療の質の向上が期待できる

医療機関の機能分化
地域での連携の強化

新しい流れ

IHN: Integrated Healthcare Network 広域医療圏統合ネットワーク

定義 複数の急性期病院
外来クリニックの電子ネットワーク

外来手術センター 在宅事業所
リハビリ施設 ナーシングホーム
検査機関 診→病→退院後
ホスピス 垂直統合
救急サービス

成功例
センタナ
ヘンリフォード
ヘルスケアー

医療情報の★共有化
医療サービスの★標準化

HIPPA情報保護

全米の入院件数+手術件数→64%

OCHISは
日本型の
広域医療圏統合ネットワークを
目指す

地域でどんなシステムが作動すると良いのか

認証：交信の
相手は誰か

電子署名：印鑑を
押す

個人情報の保護

暗号化して：送信

地域電子ネットワーク
地域でシームレスの情報交換→連携

地域医療の充実へ

開業医は地域のコーディネータの役割も



病院の専門医 かかりつけ医 ケアプラン作成
訪問看護 ヘルパーの身体介護

連携をこのように
感じますか

OCHISでは→2名主治医制が部分的に実現

病床分類の施行→ 入院期間の短縮
ハイテク在宅医療へ
かかりつけ医の対応

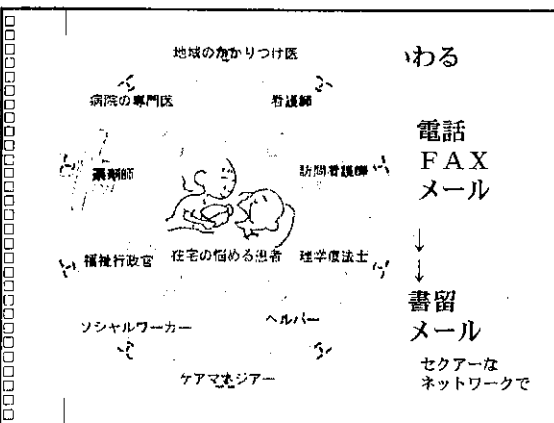


専門医とかかりつけ医の医療連携

医療機関の機能分化への促進

患者にとっての安心感の増大

2名主治医制へ



ネットワーク型在宅医療

在宅医療の新潮流
第三の医療

症例1

国立大阪病院からの逆紹介

(電話ネットワークで連携)

パーキンソン、嚥下困難、イレウス摘除、スト
装着、I VII、MRSA感染

★24時間連携システム 緊急時対応

バックアップ支援病院 ネットワーク化

症例2

〇病院からの逆紹介→OCHIS参加予定

(在来型の連携：電話FAX郵便)

膀胱癌在宅ターミナル；モルヒネ使用

